

起因物、事故の型：金属材料 - 激突されの死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	15～16	取り引き先の倉庫にて、アルミ板片付け作業中、足場用アルミ板に左手人差し指を挟んでケガをした。	21	30201	1～9
1	14～15	金型工場内で金型を製作中に、ノックピンを引き抜こうとスライドハンマーで引き抜き作業中に、スライドインハンマーの先端が鼻に当たり鼻骨を骨折した。	29	11301	30～49
1	10～11	裏手の少し狭い所で雨天時に外部足場の解体作業中、足場材（1500手摺）を受け取りした時、雨で材料を取り損ねて滑り、手摺のくさび部分が親指と人差し指の間を強打し、左手を5針縫う怪我をした。	36	30202	1～9
2	10～11	加工後の製品がスキットの中で傾いてたので二人で直している最中に膝の上に倒れたと思われる。誰もはっきりと見た者がいなかった。	37	11203	30～49
2	16～17	第一工場のガス切り場で、酸素解体作業をしている時、円柱のタンク（高さ2m、重量500kg）を半分に切ったところ、切った部分が転がってぶつかってしまい、骨盤を座骨骨折した。	30	11009	10～29
2	14～15	当社貯鋳ヤードにて、スクラップのガス切断中に切断した鉄製スクラップ（幅90cm×長200cm）が倒れ、その下敷きになり、胸部を圧迫された。	53	11209	10～29
3	16～17	被災者は、リニューアル工事現場において、足場解体作業中に足場資材（ブラケット）を取り損ねてしまい、資材が顔面に当たり、鼻とあごを骨折した。	22	30309	1～9

3	7~8	残土の積み込みをする2tダンプを誘導していたところ、足元の鉄板がコンボの移動によりずれてしまい、両足にのってしまったため、右足の踵と左足の指を骨折した。	61	30309	1~ 9
3	15~16	工場打設機内を掃除をしていた時、床の蓋（鉄板）を整えようとして（蓋は数枚ある）、持ち上げた蓋に隣の蓋が引っ掛かっている、引っ掛かった隣の蓋を足の上に落として負傷した。	33	10901	50 ~ 99
3	15~16	当該来船より揚げ荷であるC型鋼の揚げ荷作業を行っていた際、デッキマン（作業主任者）が巻き上げる為に地切りを行ったところ、移動式クレーンのジグが起こし気味だった為、船内の壁側で作業をしていた作業員2名の方へ向かい、退避したが1名が船内の壁とC型鋼の間に右足を挟み負傷した。	65	50201	100 ~ 299
4	14~ 15	下水道管理設工事中において、山留め材（矢板）を地上から地下3mへおろす作業で、地上の作業員と地下の被災者とのタイミングが合わず、矢板が被災者の肩から胸に直撃した。	59	30110	10 ~ 29
4	10~ 11	第1工場棟外ヤードサブマージ用BH置場にて、BHをクレーンを使用して横持ち台車への積み込み作業中、2段ピラミッドにハイ積みされた下側のBHに乗り上側のBHセンターにクランプで玉掛けを行い、センターの確認をしたのち地切りを行った時に、後方で別の作業員が同形状のBHを溶接器具より取り出し、ピラミッド状にハイ積みしようとした。BHの前端部が前方で地切りをしたBHの後ろ端部に接触し旋回した時、後方端部に退避しようとしていた被災者の右足首が地切りしたBHのフランジと下BHのフランジに挟まれ右足首を受傷した。	26	11209	100 ~ 299
5	13~ 14	棟周辺にて野外清掃作業中、側溝の清掃のため鉄の蓋を持ち上げた際に手が滑り、蓋が左足に落下し負傷した。	61	150101	100 ~ 299
5	14~ 15	会社工場内で、1m50cm四方の金網ドア枠の仕上作業中、作業台の上ののったドア枠の反対面の仕上作業をするためにドア枠をひっくり返そうとしたところ、ドア枠が右脇腹に当たり、食い込んだ状態でドア枠を作業台	45	11209	1~ 9

		に置いたところ、右肋骨を損傷した。			
5	16~ 17	当社本社第2工場で、パイプに付着したアルミを剥離した後、パイプの両端から洗浄液が残っていないか確認していた。片方は指をパイプに入れて確認し、被災者は目視で確認していたところ、パイプから指を抜こうとした時に抜けにくかったため、力一杯に引っ掛けてしまい、反動でパイプが被災者の左目に当たり負傷した。	37	11209	1~ 9
5	16~ 17	工場内作業場でクンクリート2次製品製造用型枠を整備中に、蝶番開閉の側板を少し開く作業をしていた時にストッパーがかからずに倒れてきて、側板と地面とで挟まれた。	58	80409	10 ~ 29
6	11~ 12	会社工場内吹き抜け塗装作業場で、鉄骨のパネルをフォークリフトに載せ、後ろに移動する際、鉄骨パネルをパレットに下ろそうとした時に、振動でパネルがフォークリフトから滑り、ツメにパネルがぶら下がった状態となった。鉄骨パネルを地面に下ろそうとした時に、自分の方へ倒れて来て右足脛にぶつかり、足首を挟まれた。	66	30309	10 ~ 29
6	8~9	鉄筋配筋工事中に、本人が座り込もうとした時に、下に置いてあった鉄筋を踏みつけてしまい、上に向けた鉄筋が、陰囊部に刺さった事故である。	43	11209	10 ~ 29
6	8~9	鉄筋配筋工事中に、本人が座り込もうとした時に、下に置いてあった鉄筋を踏みつけてしまい、上に向けた鉄筋が、陰囊部に刺さった事故である。	43	11209	10 ~ 29
7	11~12	農産物加工施設新築現場にて、脚立に昇り高さ1.2mの所でサッシ枠にモルタルを充填する作業を行った。作業が終了し、建物の梁に架けた安全帯を外そうとしたところ、梁にフックが引っ掛かったので、ロープを強く引いたらフックが急に外れ顔に飛んで来て左まぶた上に当たり負傷した。	48	30301	1~ 9
7	14~15	工場内でパイプの溶接・切断作業中に工場内を走行していたフォークリフトがパイプに接触したため、パイプがずれて両足ふくらはぎに当たり負傷したものである。	44	170101	30 ~ 49

7	16~17	<p>炉用変圧器（約70t）の搬出入作業に伴い2Fの変圧器室前ステージ作成時に、H鋼（300H長さ7.5m／重さ800kg）を1Fからイーグルクランプ2個を使用し、16tRcにて荷揚げを行っている際、先に荷揚げをしているH鋼の上に2段積みしようとした時、H鋼が滑り横にいた被災者の足の上に乗りがかり、H鋼と右足の甲の部分が挟まった。</p>	28	30302	10 ～ 29
7	9~10	<p>当社工場内において廃タイヤからワイヤーを抜き取る作業途中で切れたワイヤーを引っばった反動で、反対側の切れた部分が弾けて、顔の右側に当たりワイヤーの一部が右眼の中に入った。</p>	42	150102	10 ～ 29
7	21~22	<p>トラック荷台にイントレとアンチをのせる作業を先輩と2人一組になって行っていた。アンチ部分をのせる際に、4枚中3枚を先輩がのせており、本人はトラック横にてサポートをしていたが、本人の申し出により、さいごの一枚を本人が同じように荷台にのせた。その際、アンチがイントレにあたってしまい、トラック横（下）にいた本人にイントレが倒れてきた。頭部にあたり負傷した。</p>	25	80209	10 ～ 29
7	15~16	<p>当社作業場にてミニコンボ（17.5kw）のバスケットの補強作業を行っていた。バケットの爪の裏側に鉄板（約1.5kg、300×100×10mm）を仮付けしようとして右手で鉄板をバケットに合わせ右側に置いてあった電気溶接機を取ろうと鉄板を左手で持ち替えようとした際、誤って手を滑らせ鉄板が長靴を履いていた左足甲上に落下し受傷した。</p>	62	40301	1～ 9
7	15~16	<p>鉄筋加工中に、材料ふりまわしている際頭部にあたって切った。</p>	48	11209	1～ 9
7	16~17	<p>13SCドライヤーのロール交換をし、二人でロールを移動しようとした。選別台から階段を下りて下に運ぶ際、狭いためロールを仮置きして階段の上下に分かれようとした。その際、ロールを仮置きした場所が不安定だったためロールが転がり落ち階段下に降りようとした被災者の右手中指に当たり、骨折した。</p>	26	10402	100 ～ 299
7	9~10	<p>工場内で建築資材を運んでいたところパレットに足が挟まり、バランスを崩して鉄骨（チャンネル）に手をつけて鉄骨が倒れ掛かった。避けきれず</p>	59	11301	1～

		に左足首の上に鉄骨が倒れて負傷した。			9
7	11~ 12	作業場にて物置の運搬を容易にする為に物置を作業台にあげて物置下に土台をつけたり、ワイヤーをかける作業中作業台がはずれ物置が滑り落ち足を負傷した。	74	30202	1~ 9
7	10~ 11	洗砂池掘削作業中、バックホウのバケット爪が緩んだ為、ピンの交換をしようとしたが、ピン穴が合わず爪先を石頭ハンマーで叩いた際、被災者の左目に金属片が刺さった。	18	30109	50 ~ 99
7	16~ 17	材料（ブリキ板）の梱包を解くため、巻いていた帯鉄を切断する際に、弾けた帯鉄で誤って右手親指を負傷した。	25	11209	30 ~ 49
7	15~ 16	資材置場でトラックに足場材を積んでいたところ、足場材がトラックから落ちて、左下脇腹に接触した。当日は軽い痛みだけであったため、引き続き作業を行ったが、後日、痛みの他に貧血等の症状がでた。	37	30209	1~ 9
7	11~ 12	110tプレス部署において、鉄パイプのプレス作業中、通常はプレス機から加工が完了した鉄パイプが、内部の払い出しシリンダーにより40cm程度機械の外に押し出されるため、それを取り出す作業を行っていた。受傷当時は数センチのみ鉄パイプが外に押し出されており、内部で鉄パイプが引っ掛かっていたため、非常停止ボタンを押して上長を呼ぼうとしたとき、鉄パイプが急に飛び出し、右の手の平に当たり受傷した。	55	170101	10 ~ 29
9	9~ 10	品物である（1m50cm×1m）の鉄板を左手で持ち上げた際、バランスを崩した、品物が不良品にならない様にバランスを整えた所、鉄板が左脇腹にぶつかった、その際、ゴリッという音がし、一時痛みが治まらず息も出来ない状態で床にしゃがみ込んでしまった。痛みが和らいだので仕事を続け帰宅、帰宅後痛み止めを飲み湿布を貼った、次の日、同じ箇所をぶつけてしまったが、忙しさもあり、我慢をして仕事を続けた。	51	11203	30 ~ 49
		品物である（1m50cm×1m）の鉄板を左手で持ち上げた際、バランスを崩した、品物が不良品にならない様にバランスを整えた所、鉄板が左脇腹			

9	9~10	にぶつかった、その際、ゴリッという音がし、一時痛みが治まらず息も出来ない状態で床にしゃがみ込んでしまった。痛みが和らいだので仕事を続け帰宅、帰宅後痛み止めを飲み湿布を貼った、次の日、同じ箇所をぶつけてしまったが、忙しさもあり、我慢をして仕事を続けた。	51	170101	—
9	13~14	太陽光パネルのアルミ枠の外し作業（倉庫内にて）において、パネルの表面に張り付いているアルミを手で勢いよく剥がした際に、手で先端を持たず中間部分を引っ張り、アルミ枠の端が反動で跳ね上がり、左目にそのアルミ枠の先端が当たり損傷した。	47	170101	50 ~ 99
9	8~9	鉄くず運搬、荷おろし中コンテナの観音開きを開いた時に鉄辺が落下し、ヘルメット着用を忘れていたため前頭部に接触し負傷した。	49	150102	1~ 9
9	8~9	社内現場にて、曲がっている品物をひろげる為にハンマーでたたいていたら品物が指に飛んできて当たって折れた、固定できなかったなので、その場で置いて仕事をした。	28	11209	1~ 9
9	15~16	工場内で作業中、立ててある平板の奥の板を取ろうとした時に、重みで指がはさまり、はさまった指の上に持ち上げた鉄板が落ちてきて、左手甲を切った。	36	11209	1~ 9
9	11~12	工場内のパイプ置場にて棚からパイプを取り出す際、棚が手前に倒れてきて、棚に入っていたパイプが右足になだれ込み、右足ふくらはぎに打撲を負った。	31	80101	10 ~ 29
9	8~9	工場材料（鉄板）が手に当たり左手甲が傷ついた、その後、材料を持った時にパンと音がして痛くなった。	32	11209	—
9	14~15	リフトマンと2人で板パレットを運ぶ時、足元にあったH鋼に気づかず踏んでしまい、そのはずみでH鋼が反転し右足に衝突、右足親指を骨折した。	39	11502	100 ~ 299
9	11~12	工場内で、鋼板の切断加工中にクレーンを使って鋼板（厚さ6mm×1524mm×3048mm）をプラズマ切断機に乗せる際、下敷きになっていたリン木を外そうとしたときに、鋼板が約50cmの高さから落	38	11209	10 ~ 29

		ち、左手人差し指を負傷した。			
9	8～9	本社工場のコンクリート製品の製造ラインで、鋼製の型枠を開く作業をしていて、側板がある程度開いたところで、本来なら側板が当たらないように足を退避させておくべき所を、そうしないで側板から手を離れたところ右足の甲に側板が当たり被災した。	42	10901	1～9
10	9～10	工場内で横になっている材料（H型鋼H400×200サイズサイズ長さ約3m）を起こす作業中に、天井クレーンの位置を確認せずクレーン操作し、上げてしまい吊り上げた時に、本人腹部に材料が当たってしまった。	22	11209	1～9
10	11～12	被災者は当時、もやし栽培室とコンベアーとの間に渡したステンレス板（高さ約70cm）の上で、もやしをコンベアーに移す作業を行っていたが、突然ステンレス板が外れて転倒した際、右側胸部をコンベアーの縁で打ち、負傷したものである。	66	10109	10～29
10	9～10	鋼材（125角×6.5m）搬入トラックの荷台に乗り、玉掛された鋼材を荷下ろし誘導中に、鋼材が脇腹に接触し、左肩を荷台から地面に転落した際、強打した。	59	30203	30～49
10	11～12	建物内地上で鉄骨梁材をクレーンで吊り上げる作業を行っていた際、足元に梁材を立てて置いた状態で上空のクレーンのフックを確認、手に取ろうとしたため、梁材が足元に倒れてきた。目を離していたため避けることができず、梁材に取り付いたプレート部分で左足に15cm程度の裂傷を負った。	49	30202	1～9
10	17～18	4トントラックの荷台から資材（現場で使う資材でない）を手降ろし中に鉄製パイプ（長さ1.8m・太さ42.6mm・重さ4.8kg）を下で受け止め損ねたため、地面に落下して跳ね返ったパイプが右鎖骨辺りに当たって鎖骨を負傷した。その後、事務所にて痛みを我慢しながら道具の整理、作業車の清掃の作業中、道具の積み下ろし中に右肩に強い痛みが走り右鎖骨を骨折した。	21	30201	1～9
	10～	工場内にて、いつも通りの作業中、U字型のパイプ（15kg位）が2本重ねて立て掛けてあり、その内の1本を取り、持って行こうとした時、もう1本			10

11	11	に躓き転倒した。その足の上に製品（もう1本のパイプ）が倒れてきて、右足の脛に当たり、負傷した。	44	11209	～ 29
11	9～ 10	15GNショットのターンテーブルから南側のローラーコンベア上にある搬送容器に鋳物（約20kg）を手で持ち運搬していた。その際、手が滑り持っていた鋳物を左足の甲の上に落とし負傷した。	26	170101	～ 999
11	17～ 18	工場でボール盤でアングル（6mm×長さ229mm）に穴開け加工中、台座に固定してφ20.3のドリルで穴開け加工をしていて、ドリルが強く食い込んでアングルと一緒に回転してバイスが手に跳ね返って、左手小指に当たり負傷する。	33	11301	10 ～ 29
12	10～11	1階店舗部コンクリートスラブ上で、被災者は徒歩で移動し、電気（加害者）は奥にある高所作業車を中央部に移動しているときに、被災者は右肩にアルミ製（長さ1800）の脚立を抱え、電気は高所作業車を移動するのに邪魔なフォークリフトを動かした。駐機していたフォークリフトのバックレスト部にビティー枠が9枚立てかけてあり、固定されていなかったが、電気はツメで持ち上げた。ツメを下ろすときに枠6枚が前方に倒れ、「危ない」の声でしゃがみ込んだ被災者の右肩部に当たり、被災した。	22	30209	1～ 9
12	14～15	車両の荷台室内にて、保安基準の仕切りパイプを取り付け中、鉄パイプがはね返り、右手の平に当たり、反動がきつく右腕が後にもっていかれ、右肩の関節に激痛がはしった。病院でMRIを撮ったところ、右肩関節の筋肉（すじ）が切れていた。	70	11701	1～ 9
12	8～9	被災者は普段、NCを使って鉄板を切断する作業に従事している。被災時には鉄板の片づけを行っており、鉄板を運搬中に何かに当たってしまい、立て掛けていた鉄板が崩れて下敷きになった。	29	11209	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html